京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
定價　月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金一五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

雜報

北清邦人の退去

近來北清各地に於ける清國官民の行動は何となく穏かならず殊には防穀令の發布あり又東清沿線西部各地の清人日貫に對するボイコットあり物情何となく不愉快の感あるの際愛化府、呼倫城、兆南府各地に在りたる日本人は突然清國當憲より退去を命ぜられたる爲此等の地方に在りたる邦人は已ひなく皆哈爾賓迄引揚げたりと

安奉線の工事模樣

▲長嶺子と金札　安奉線十二工區に於ける南牧下馬塘の長嶺子隧道（五百九十四尺）は阿川組の請負にて日夜精勵の結果五日午後七時全く貫通し同區内金孔隧道（六百六十尺）も亦同組の手に八日午前三時首尾よく貫通したり▲釣魚臺　釣魚臺隧道は鹿島組の請負ふ處となるも全線第一の硬岩のことゝて堀鑿容易ならず一日漸く平均一尺の割合なるが目下は既に約百尺に達したりと云へば遠くも本年五六月の頃には貫通を見るを得べし又同所細河沿岸コンクリート工事は全線第一至難工事と稱され居れるが鹿島組は畢生の心血を傾倒し永を割て作業に勉め居れば之亦た案外早く進捗すると見て可し▲細河橋梁火災　安奉線に在る細河の橋梁二十四號は如何なる原因にや汽車の通過後火災を起し二徑間三十尺燒失し一時交通杜絶したるが直に修繕復舊せりと

東幕洞の戰闘

瀋川分遣所の濱田、高橋の二上等兵は補助員四名を率ひて賊徒搜索中十八日午後三時頃平山郡東幕洞に賊徒徘徊せりとの情報に接し直ちに同地へ向ひたる所賊魁李鎮龍の部將崔順亘の率ひる二十七名の賊團にして其の内二十二名は銃を所持し居たるが賊徒は五分ばかり前に同地へ着したる如く未だ武裝を解かず二隊となりて休憩中なるを認めて兵は二隊に分れて賊の覆背より約二十米突まで接近したる時前方約百七八十米突の山上にある賊の哨兵は直ちに發砲したるを以て我兵又發砲して迫りたれば賊は周章狼狽してなす所を知らず算を亂して且つ走り且つ戰ひ激戰一時間半に渡りて遂に之れを潰走せしむ我れに損害なし

一月中の採炭高

平壤鎮南浦炭所の一月中採炭高を聞くに鎮山、寺洞、高坊山、中山里の各鑛區と合せて切込炭四千七百三十七噸九合之れに前年よりの越高塊炭四十二噸及び切込炭三万三千三百九十五噸六合を加へ同月中堂里貯炭場へ運送したる塊炭六十一噸（切込炭より撰出せしもの）切込炭百四十四噸を差引き同月末山元現在高は塊炭四十二噸、切込炭三万七千九百三十八噸五合、計三万七千九百七十噸五合なり而して同月中の販賣高は塊炭六十一噸、切込炭百四十四噸にして月末堂里貯炭場に於ける現在高は切込炭千七百四十七噸四合なりと

●慶南道路改修補助

地方費を以て改修せらるべき各道路の道路中慶尚南道に於て本年度に改修を實行さるべきは東萊蔚山間十三里及晋州居昌道路の内晋州丹城間の延長四里の南區なるが今此南區域の改修費補助を道地方費より支拂はるべきは東萊蔚山間に一里三百圓を見積り十三里分三千九百圓晋州丹城間は改修困難のため一里の改修費三千八百圓と見積り三里分一万五千二百圓を計上確定せりと

地方通信

▲平壤通信

▲林業界の近況　咋秋植付けたるクヤギ苗は一年生は今回は初期の事にもあり寒冷の候に於て大に之が發達を憂慮し居たるも幸にして成績良好何等障害を受くる事なく其他アカシヤ、ポプラ等も成績良好なり而して近く解氷期を萬本を百町歩の地域に植栽する筈なり其他に於る目下の植栽樹木に黑松（俗に雄松と云）ありされど右は元來暖國に繁茂する木材なれば當地の如き氣候寒烈なる地には適せざるが昨年試植したるも良好なる成績を上げる能はざりしなり又本年度春季より當地附近に播種すべき樹木は赤松、クノギにして何れも昨年は二十五石なりしも本年は五十石に增加し何れも薪炭材なるが赤松は日韓兩種なり然るに日產は寒氣烈しき爲め發育宜しからず之に反して韓國產は樹苗も大に發育良く成績良好なるも元來赤松は日本に於ては繁殖頗る旺盛にして通常三年目には山に空地を見ざる迄に至るものなるも當地に於ては前記の如くにして漸く一尺五寸位の發育を見るに過ぎず又樹木の内發育も早く地を選ばず繁殖するはアカシヤなるも樹質宜しからず依りて右は韓人間に於る松樹伐採の防禦的に栽培するのみなり要するに韓國に於て最も適したるはクノギなるが右は薪炭材として用ゆるに止まり之を造林上より見る時はアカシヤ、ハン等なりと（因に一ハンは沿岸の水氣を有する所を好み又ポプラと同じく水氣を好みて多く山地に適せず其用途に就ては夏殖の原料及火藥の灰等に用るのみなりと

▲本月の倉庫界　二月に入りてよりは一月中に比較し一般の倉庫取扱品は減少せる方にて輸入品中月初めに於て僅かの荷捌きありたるのみにて殊に目下は韓正月なれば韓人間の取引皆無の狀態なるが故に何れも軟弱の委にて市場閑散なるも近く解氷するに至らば大同江流域の物資集散するを以てさすれば幾分活氣を帶ぶに至るべし

▲電燈問題の悲觀　過般當市内に電燈を建設すべき問題起り若松理事官は是れがため南三回上京して盡力され既に布設の運に到着し居りしが去る十九日の民會に於て調査委員は種々調査に從事したるが更らに要領を得ずして曖昧なる報告をなしたるが動機となり昨今非常に物議を醸し居れば今後が觀物なるが（撰目下の財政にては迚も急に電燈建設は先づ六ツかしい事であらうと思はれる

清酒

日本銘刀傳

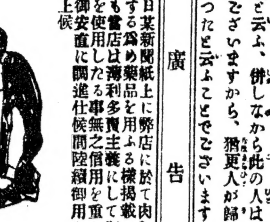
第五十席　邑井一講演

彌「悴……名僧智識の引導より、遙かに勝つた貴樣の一言……　仙「南無阿彌陀佛／／、何卒に浮み下さいまし」暮るる涙に父の死を痛んで、遂に其體に茶毘一片の烟となし、何處を尋ねたか一つの瓶を持來り、父の骨を是れへ入れ金閣市兵衛の方を訪れ、夫れより故郷木津村に歸りましたが、情けないかな祖父權も祖母樣も相果てゝ、惡者の爲

した、此會津の小鐵が大層名前を高く致しましたと云ふのは、會津の肥後守公の御用を勤め、所謂人入れてございます、又北野の五郎藏と諸共に運送を致して居りました、其中に島津久光公がまだ三郎と仰せられた時分、京都の御乘込みに相成らうと云ふ時に、筑前の平野大郎國臣が建言書を奉つり、恐れ多くも皇居を何處へか遷し奉つて、外國人を打拂はんと云ふ、此のことに付いて島津久光公京都に御入りに相成り、間もなく致して伏見に薩摩浪人が入込んだ、有馬新七が巨魁でございます、其の時奈良原幸五郎、元の沖繩縣知事を召に相成り、取鐵りよとのこと、其の供に立つたのが會津の小鐵でございます小鐵の仙吉が寺田屋の四方を圍んで、浪士の暴れ出さうと云ふのを、自分が一手に是れを支へ、是れが爲めに有馬新七は奈良原幸五郎殿に畢たれて仕舞つた、此の事は近世史略にも出ございますから、俠客傳には必要でございませんから申上げません、其の時に小鐵が白刃の中に飛込んで、少しも恐れず大勢を相手にしたと云ふので、非常な評判を受け「是れから小鐵の名前は轟き渡つて、會津の小鐵と云ふ名前を知らざる者はない、間もなく致して新門辰五郎さんが、江戸から京都に乘込み、時の將軍德川慶喜公の御庭の播磨守殿に、慶喜公の御用ひが大層うございましたから、折々此の新門の乾兒と衝突を致しまして、固より當つて碎ける新門の親分ゆゑ、小鐵さんとの仲は忽ち直り、其のうち新門さんは大阪に參り、慶應四年に慶喜公御歸りになつて、其の辰五郎さんも江戸に歸られた、夫れから德川は瓦解となり、會津樣が引立退きになると云ふ時、小鐵に於ては大阪までも供致して、德川が朝敵となり、官軍の御代と相成りまつた時に、小鐵は初め官軍の御用をも勤めませんでしたが、據なきことを歸めて、遂に官軍の御用を勤めて大に小鐵の名前は又盛んになり、明治の元年から致しまして、京都の愛宕吉田村と云ふ所に自分の家を構へ、紀州和歌山に居る母親を引取つて孝養を盡して居ります、遂に明治五六年頃に大坂に乘出して、難波の聯と云ふ人と大喧嘩をやつて、小鐵の名前は又高くなりまして彼方でも小鐵、此方でも小鐵と云ふ、併しなから此の人は親孝行でございますから、猶更人が歸服して居つたと云ふことでございます

廣告

過日某新聞紙上に弊店に於て肉を軟かにする爲め藥品を用ふる樣掲載し有之候も當店は薄利多賣主義にして斯る藥品を使用したる事無之信用を重じ御手輕御安直に調進仕候間陸續御用命の程願上候



牛肉　同　御一人前　御一人前本　金五錢　金三錢　金五錢　金一錢　金十錢　御酒　御しわ　御さかな　御ねぎ　御みと　永樂町二丁目赤門前

植島本店（電話一五八二）

胃腸新藥

メカヂアスターゼ

韓國總代理店　仁川本町二丁目電話八五〇番　竹田津三平

諸荒物世帶道具一切

其他和洋蠟燭　サツポロビール　精白米

右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候

日用雜貨　御問屋　西崎嘉七本店　京城本町六丁目　電話二一〇　電報（二カ）　振替貯金口座韓七一番

預金利子改定廣告

百圓二付日歩八厘

一當座預金　百圓二付日歩一錢

一特別小口當座預金

右之通改定の上來る三月一日より實施可致候に付此段廣告致候也

明治四十三年二月

第一銀行　株式會社　京城支店
十八銀行　株式會社　京城支店
百三十銀行　株式會社　京城支店

電話壹四二九番　客用有ます

◎監獄辨當の差入も引受ます◎

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前　江頭眼科醫院　（電話三三）　醫學得業士　江頭富雄

京城鐘路の喰物は何んだろ　鐘路軒の

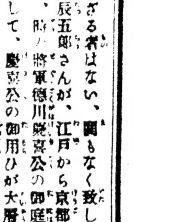
裁判所前の洋食店

松茸めし　酒一本

外和洋料理　一人前六十錢

價が安くてうまくてはらにたまるよ　皆さん一度たべてごらんなさい

又和洋料理和洋食辨當の注文するとすぐ一つでも持つてゝる極く便利ですよ



◉筑前琵琶教授◉

月友會指南本部　京城旭町四丁目一番地　鶴崎賢定

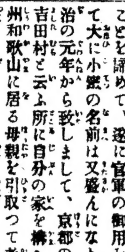
月友會支部教授　龍山本町二丁目廿二番地　東司照子

電話一八二番

新築落成御披露

過日成婚の際は御祝儀を賜はり候節は御書面を以て相燒み候段深く御禮申上候扨て今回落成致候に付ては平素の御愛顧に對し一層設備を完全にし器具を精整して意匠を凝らし期して奉希上候敬白

京城永樂町一丁目　大槻商行質部



金高の如何を問はず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は可成極めて安全に一定の場所に保管す

京城曙町

旅賣品と雖も場所の許す限り可成長期の御入用に留保し萬遺漏なきを期す

御待合　嬉野

電話一四四四

味の素　和洋料理は勿論一般の家庭料理として日常欠可らざるものでありまして魚肉の臭味や鹽分の不足や色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひられる調味品であります

定價一瓶三十五錢　四十五錢

他地方は引換小包にて送ります

韓國特約店　京城辻屋　電話二八二八番

東京電報

▲**外債借替の發表** 外債借替に關しては政府に於て審議中なりしが愈々五千万磅を直に實行する事に決定したり而して其條件は價額九十五磅利子三朱三厘シンジケート手數料及印紙料等二磅半なり(同上) 既電

▲**外債借替の確定** 外債借替は英、佛兩國の資本家と內議纏まりたるものゝ如く其發表は來月上旬なるべし(同上)

▲**中旬の外國貿易** 本月中旬の外國貿易は三百四十三万八千圓の輸入超過を示し輸入前旬に比し一割六分輸出同三分の增加なり

▲**政友會と營業稅** 政友會は議員を以て政府の提出にかゝる營業稅改正法案を否決するに決せり 爾來

▲**合併問題と傳說** 本月中旬に於て桂首相が與へたる言明後大に消息杜絕せる日韓合併問題は貴族兩院に於て桂首相が日本人なる時は指令に開展の機運を促がし過日の閣議は頗る注目を惹きつゝあり目下絕對に秘密を守られ居るも其實行は次第に進行して近日に解決を見るべしと傳へらる(廿二日)

▲**小學校長會開催** 全國小學校教員會議は來五月七八兩日帝國教育會に於て開催せらるべし(同上)

歐洲電報

▲**伏見若宮の御旅程** 伏見博恭王殿下は伊國皇室の貴賓として羅馬に御滯在中なりしが二十日羅馬府を出發チーブル其他伊國の各所葡萄御遊覽三月六日伊太利國より西班牙國に向はせられ同月八日より十二日迄同國御滯在の御豫定なりと(廿一日)

▲**埃及首相の遭難** 埃及首相は兇徒の爲五回狙撃され三個所負傷せしも生命は無事なり(廿一日)

▲**獨逸議長の逝去** 獨逸聯邦議會議長逝去せり(同上)

▲**アー國の軍艦注文** アルゼンチン共和國にては排水量二萬五千噸の戰鬪艦と米國に又十二隻の驅逐艦を獨佛兩國に注文したり(同上)

桑港電報

▲**聾者會議の開催** 米國コロラード州スプリングに於て來る八月六日より十二日迄聾者萬國會議開催する由にて我國にも招待狀回送し來りたる其重要なる討議事項は一實業界に於ける聾者の關係二聾者使用に關する件三聾解又は不明の用語改良の方法四聾者の居宅五聾者專用の學校及首相の遭難

韓國銀行の總會

(議場頗る熱烈を極む)

▲極東重要の會議 黑龍江沿海州總督ユンデンベルグ將軍は極東に關する重要問題會議に列する爲め廿日露都に向け出發す(廿一日)

補遺電報

新聞發行及び經營に關する件等なり(廿一日)

韓國銀行第一回總會は十七日午後二時より東京商業會議所內に開會し總裁市原盛宏氏議長席に着き四十二年十一月二十日の計算を以て第一銀行より引繼き同二十四日業務開始以來四十日間に於ける營業に付き大体の經過、韓國の貿易等を說述し終りて監事濱口吉右衛門氏より計算書其他の調査報告あり利益分配案の議事に入り一氣呵成の勢を以て可決せんとするや異議ありと叫びて立ちたるものあり滿場の視線は均しく其人物に注ぎたり是れ韓國より態々總會參列のために上京したる峯岸繁太郎氏(本社長)にして先づ貸借對照表中定期貸百五十一萬六千六百十八圓餘、割引手形百四十萬七千三百二十四圓餘中仁川金融組合、木浦の竹內某、仁川の秋田某等に七十餘万圓の長期貸あるやに聞けり之に對して保證及び擔保の有無に關し總裁の答辨を求むと迫り市原氏は此の如き問題は總會の席上に於て說明すべきにあらざれば別席に於てしたしと其語氣壓迫を加へんとするものゝ如く尙は何か期する所ありたるものか株主の二三は發言權を得ずして反つて峯岸氏に喰つてかゝり其言論を妨害せんとし一方には峯岸氏に贊するものあり結局再び發言權を得たる同氏は東京に總會を開きたる不法を問ひ仔細に杜撰なる諸點を指摘せんとするや簡單〳〵と絕叫して再び其言論を抑壓せんとするものあり同氏其言論を罵しり政府補給六朱の配當に甘心すべきは僅々五箇年のみ其後に於て如何なる手段方法に依らんとするや予は態々韓國より來りたるものゝ少數なるが故に議用ゐられずとせば歸韓の上他に執るべき手段ありと席を蹴て議場外に出づ其後の總會は何等異議なく僅に數分間にして左の原案を通過せり

一金六萬一千五百〇二圓四十五錢也
一金十五萬三千八百〇五圓四十一錢也 當期總益金
減引
金九萬二千三百〇二圓九十六錢也 當期總損金
金十一萬七百十三圓九十一錢九厘也 當期純損金
再差引 政府補給金
金一万八千四百十圓九十九錢五厘

▲**峰岸氏の說明** 別項の如く韓國銀行の總會は峯岸氏より紛擾を呈したるも同氏は多數に敵せんやうなく席を蹴て場外に出でたれば之を別席に擁して其間の消息を聞きたるに同氏は總會に於て述べたる固定貸付金問題、第一銀行貸付金七百八十八万八千七百五十一圓餘の利子及び擔保品の不明なること本店及び支店の地所建物什器百二十一万二千百十八圓餘を第一銀行より買收したる價格高きに失すること四十日の營業日數に比し他店貸四百八十二萬三千百八十三圓餘が他店借六十七万八千八十五圓に比し多きに失すること當期缺損金九萬二千三百餘圓は總裁辨明の印章帳簿其他の買入費とし て多きに失すること政府預り金の利子高率に失すること諸預り金七百六十三万一千六百餘圓は第一銀行時代に一千餘萬圓ありたるに第一に京城、釜山の如き重要なる兩支店を奪取せられたるを以て結局現今の營業狀態に苦痛の觀あること韓國銀行獨立論を現重役の提唱するは不可なること、預金の勸誘を總裁親展狀を以て勸誘するは他銀行に對し甚だ不親切なること、中央銀行として韓國諸銀行統一を計畫せざるは其施設の不可なるに原因すること等の諸問題に涉り一々事例を擧示して說明あり依て總會終了後更に當局の辨明を聞くべく市原總裁を訪ふ

▲**市原總裁曰く** 總會に於て道般の態度に出でたるは峰岸氏は京城新報の社長にして常に吾人と相識の間柄なるに態々總會の席上に於て仰々しく說明を求むるの要あらざるべしと思料したればなり併し前記定期貸の三件中木浦の竹內某に屬する分は第一銀行に分は擔保確實にして十分回收し得べしと確信すれども少しく時日を要するは單實なる穀物什器の價格は決して高からず預金勸誘の書狀等を發したるとなし其他は敢て辯明の要を見ずとて口を緘したり

韓政府の新借欵

韓國政府に於ては今般日本より新たに借欵を起さんとする計畫なり其の使途は土地調査及治道費、其他に充當する豫定にして土地調査費は豫て興業銀行より借入れたる一千万圓なりと雖此金は既に他の所に流用しあるを以之を補充するの必要と治道費は繼續事業の外新に四百万圓の治道を計畫したるも一定の年割額を支出するに不可なりとして本年度の豫算より削減したるを以て之れを遂行するが爲めにて其他一事業に關しては借欵を以て完成す筈なるも其の方法に從來の如く年々確定し たる額を借り入るゝにあらず必要に應じて協定する筈なりと云ふ

新稅と英國勅令

客年二月韓國家屋稅外二稅の法律發布に伴ひ英國政府に於ては特に家屋稅のみに對する勅令を發布したる由にて京城駐在英國總領事より石塚總務長官宛左の如く通牒ありたり

家屋稅法中の說明及該稅法の効果を生ぜしむる爲め英國居留民の注意を勸促されたしとの御照會に對し小宮は該稅法を本國政府に照會致候處政府に於ては其の趣旨を公示する爲め勅令を小官の名を以て發布する樣命ぜられ候因て當領事館に於ては條約を以て許されたる範圍外の韓國內地に在住せる英國居留民に對し去る二月十三日御發布の家屋稅法に權利を附與せし千九百九十年勅令第一號を以て該稅を納附する樣告示致候該納附の義務者は多數無之事と存じ候得共も韓國法律施行上形式的の効果を生ぜしむる爲め貴官に於て可然御取計ひ下さるゝ事と確信致候

因に石塚長官は右交涉の顚末を民支部に移牒したりと

韓蠶業講習所の設立

農商工部は龍山に現在する私立大韓蠶人會養蠶講習所を利用して之を同部の直屬とし女子蠶業講習所を新設せり而して之に關する規程は近く部令を以て發布せらるべきが今其內容を聞くに同所は蠶業に關する學理及技術を講習し修業期限は每年四月一日より十一月三十日迄八箇月間とし講習生は所內に寄宿せしめ學費として一箇月六圓以內の給與を受け卒業の後は滿二箇年間政府指定の職務に從事するの義務を負ふもの之れ又學科は講義實習の二に別ち前者は修身日語算術桑樹栽培法養蠶法製糸法とし後者は桑樹栽培養蠶製糸を教授する由にて講習生定員は二十名にして蠶室は現在二階建約三十坪所桑園は總面積約四十町歩ありて既に植付濟のもの九町歩現在せりと云ふ

韓政府の教授法研究

師範學校にては目下速成科の六十九人を合して二百十二人の教生あり同校附屬學校の學童二百六人に對し教生は親しく教鞭を執り教授法の實地研究をなしれるが成績極めて良好なりといふ此程教授法研究の日程を左の如く規定し學部よりも職員出張する由

二十三日 二學年 圖畫
二十四日 二學年 算術
二十八日 一學年 漢文
三月二日 一學年 理科
八日 四學年 語
一一日 一學年 國語
十六日 四學年

七川管內の日本人

仁川理事廳管內在留邦人の本年一月末百十七人より百四十三人に又た百八十七人を百九十九人に六十八人を七十二人と增員し二月廿一日より施行す

寧邊の市場稅徵收

寧邊に廿日開市當日にて總貿易千圓に對し外來者百廿名分に對する二圓十錢收を終り寧邊商民に對する耳ひ傾け吳るものなきに目下中止の裏なるが其後某議員現れ出で種々運動を試みたるも其內心に民長牽制の魂膽あるを看破したる爲め古城氏は絕對に之を排斥せるを以て是亦成功覺束なきが如し斯くて又魔窟の候補者數へられしが孰れも滯襲長短的のものゝみなれば忽ち出でゝ忽ち消へ去り最後に現はれたる者を峰尾晉三郎氏とする氏の推薦者は古城民長にして頗りに議員間を說き廻はり既に八歩通りは成功せりと云ふ然れども吾社の探知する處によれば議員中には同氏に嫌厭たるもの少からざるが如くなれば愈々事實に現はるゝ時は物議紛出すべし特に民長就任條件中には助役問題は有力なる條件の一に數へられ之を決するには議員七歩民長三歩の意見に依る筈なれば頗る人撰困難なるべしと看取せらる(電通)

後任助役の人選難

現京城民潮助役林田茂七郎氏は近々辭任の都合なる旨を聞き早くも野心家の運動開始せられ某を二三數の如きは殆んど血眼の狂態を演じ居れり今其顏觸を窺ふに如何ばしき人物揃からず蠶に屢々其議に上りたる大村某の如きは爾來數回之を行ひし筈なるが寧邊署にては万一を慮り巡査數名を派遣せり

參與官會議の例會

廿二日午前十一時三十分より統監府に於て參與官會議例會あり石塚長官の外荒井、俵、松井、小宮、小松、國分の各參與官及機寺司法廳長官代理、中山書記官岡本參謀、國鐵道廳參事等の諸氏出席

工業傳習學員募集

工業傳習所にては第四回學員を募集する由志願者三月一日より廿五日迄願書を提出すべく試驗は四月一日執行の筈

日韓瓦斯の決算

日韓瓦斯會社は來る廿五日東京本社に於て株主總會開催の筈にて岡崎專務は既に先程東上したるが同會社の本期收支は左の如し

明治四十二年下半期損益統要計算 (圓下切除)

收入	
金七万二千三百六十二圓	電車收入
金七万七千九百廿四圓	電氣收入
金五千三百九十圓(九十日間分)	瓦斯收入
金一萬千三百三十四圓	
合計十八萬九百十二圓	
支出	
金十四萬四十七圓	
差引	
金四萬八百六十五圓	當期利益金
金一万千四百三圓	前期繰越金

株主配當は總會決議の上なりでは確言し難きも同總額は三万六千百廿圓とし五分を配當するに至るべし尙は創業期の今日に於て五分の配當は寧ろ意外の好績にして今後万般の設備完成の曉に到らば一割以上を配當するに至らん事難からざるべしと某株主は語れり

韓海の捕鯨成績

現時政府の許可を得て韓海に於て捕鯨を業とするは日韓捕鯨株式會社、東洋捕鯨株式會社(昨年東洋漁業會社と長崎捕鯨會社と合同したるもの)の二會社にして明治三十六年各會社が韓海に於て捕獲したる鯨の數を聞くに三十六年自一頭、三十七年三百三十六頭、三十八年三百九十七頭、四十年一百四十二頭、四十一年二百四十七頭にして四十二年の分は目下漁期中なれば捕獲數は知ることを得ざるも今日までの所には未曾有の好成績なりと云ふ因に漁業法に依れば捕鯨期間は每年十月より翌年の四月までに制限せられたるが禁漁期間は價格の低廉なる時期に於て必ずしも產卵期の產卵期は各國を通じて明確ならずと

築港と港灣視察談

來る廿六日午後一時三十分仁川民役所屬學校の學童二百六人に對し教生は親しく教鞭を執り教授法の實地研究をなしれるが成績極めて良好なりといふ此程教授法研究の日程を左の如く規定し學部よりも職員出張する由

二十三日 二學年 圖畫
二十四日 二學年 算術
二十八日 一學年 漢文
三月二日 一學年 理科
八日 四學年 語
一一日 一學年 國語
十六日 四學年

甲種普通學校補助

本年度に於ける各道公立甲種普通學校への補助費下附の件は此程學部大臣の決裁を經たるが額左の如し

京畿	一、三六六、〇〇〇
慶南	一、六一四、〇〇〇
全北	三〇〇、〇〇〇
全南	一、三六〇、〇〇〇
平南	七二〇、〇〇〇
黃海	五〇〇、〇〇〇
咸南	二〇〇、〇〇〇
咸北	七二〇、〇〇〇

官費留學生の試驗

學部にては今回日本へ留學する官費生補缺員を募集する由にて其資格は官立高等學校卒業又は學部大臣に於て之と同等等と認むる學校卒業生の內より試驗の上選拔する事となりれり志願者は三月末日迄に學部に到達すべき樣願書履歷書卒業證書希望教條學科等を具し直接學部へ差出すべしと因み に試驗は四月十一日師範學校內に於て擧行す

會計事務の講習會

內務警務局にては今回韓全國に於ける各警察に會計事務を執れる若くは將來會計事務を執らんとする警察官を召集し會計の統一と整齊を期する爲め會計事務講習會を開催する由なるが講習期間は明後二十四日より約一ヶ月半の豫定にして聽講人員は四十八名なりと

地方官官制の改正

隆熙元年勅令第四十號地方官官制中改正の件裁可發布されたり其の要旨は第二條中三十一人を三十七人に第三條中百十七人を百二十人に又た百八十七人を百九十九人に六十八人を七十二人と增員し二月廿一日より施行す

寧邊の市場稅徵收

寧邊に廿日開市當日にて總貿易千圓に對し外來者百廿名分に對する二圓十錢收を終り寧邊商民に對する耳ひ傾け吳るものなきに目下中止の裏なるが其後某議員現れ出で種々運動を試みたるも其內心に民長牽制の魂膽あるを看破したる爲め古城氏は絕對に之を排斥せるを以て是亦成功覺束なきが如し斯くて又魔窟の候補者數へられしが孰れも滯襲長短的のものゝみなれば忽ち出でゝ忽ち消へ去り最後に現はれたる者を峰尾晉三郎氏とする氏の推薦者は古城民長にして頗りに議員間を說き廻はり既に八歩通りは成功せりと云ふ然れども吾社の探知する處によれば議員中には同氏に嫌厭たるもの少からざるが如くなれば愈々事實に現はるゝ時は物議紛出すべし特に民長就任條件中には助役問題は有力なる條件の一に數へられ之を決するには議員七歩民長三歩の意見に依る筈なれば頗る人撰困難なるべしと看取せらる(電通)

圖書館の設置計畫

京城居留民團にては居留地發展の趨勢に伴ふ設備として各種の計畫を立案しつゝあるが就中其最も急要なるは圖書館なりとし之が設置の爲め四十三年度豫算には必ず計上せしむべしと唱道せる議員少からず而して之に要する財源は普通歲入にては困難に就き此際巨額の團債を募集し他の必要事業をも併せ遂行せば經濟界に於ける不況挽回の一助ともなる可く一方監督官廳にても長期債證の條件にて成立すれば五十萬圓位迄の募債は認可すべしと云ふ

仁川市場の開設期

仁川の韓人市場設置に關しては屢々報道する處ありしが聞く處に依れば其市日は四、九の兩日に定め其他の設計も略ぼ終れりと雖も位置の撰定に時日を要しつゝあれど之とて近日中何れかに決定すべく開場の日近きにあるべしと

後任助役の人選難

現京城民潮助役林田茂七郎氏は近々辭任の都合なる旨を聞き早くも野心家の運動開始せられ某を二三數の如きは殆んど血眼の狂態を演じ居れり今其顏觸を窺ふに如何ばしき人物揃からず蠶に屢々其議に上りたる大村某の如きは爾來數回之を行ひし筈なるが寧邊署にては万一を慮り巡査數名を派遣せり

慈惠醫院の事業

(奧貫內務部技師の談)

清州慈惠醫院增築に關し敷地撰定其他の要務を帶び此程清州へ出張し倒地觀察道橫手に二千五百坪の地域を買收する事に決し一昨二十日夜歸任したる內務部衛生局奧貫技師の談を聞くに慈惠醫院の事業は豫想外の盛況にて清州の如き每日新患者四十名を數へ施療者總數日々百四五十名に上り大繁忙を極めれるが何分病室等狹隘に過ぐる爲め附近の韓人家屋は總て旅店と變じ患者を收容しとる次第にて十數里の地點を遠しとせずはざ〳〵輿、籠者くは擔夫の背等に運ばれて診察を乞ふべく來院する者引きも切らず就中尤も悲慘なりし は年齢十四五歲の韓女にして年久しく癩病に罹り居り今は毒血慢爛して見る影もなく慈惠醫院に來り慟哭哀泣して止まず掛員も不憫に感じたれど何分他の患者等に癩病を忌む事非常にて件の癩病娘を見れば一散に逃れ去る有樣なるに愚か掛員より論すところ約三日隔每に醫藥を給する事とし全治する迄決して愛を去らずして遇りに就泣するを宥め兎も角もして一旦は立去らしめたる由猶奧貫技師は明日より金州へ赴き一周間ばかり滯在これ又清州同樣增築に關する敷地撰定となす筈

鴨綠大橋

大阪每日新聞京城特派員櫛崎桂園氏は廿一日午前一時上

東電の報ずる處

に依れば日韓合併問題は貴族兩院に於て桂首相が與へたる言明後大に開展の機運を促がし雲行き次第に進行して近日其解決を見るべしと、何れ何やら具体的要領を得ざれば薩張り解からねど も、景氣附けに時々斯樣な說の傳はるのも面白いて▲朴泳孝は馬山に家屋を新築せんと計畫し其日常の生活は頗る贅澤を極め居りと何等憂なき政爭の渦中に投じて騷き廻はるよりは餘程此方が結構だ彼れも又中々の怜悧者である▲韓國銀行の總會も原案通り可決し市原總裁以下大得意で近く歸京する由▲株主の一人として同總會に列席した峰岸本社長が例の句調にて頗る皮肉質問を發すると、市原氏は其質問を抑止し、韓國の事情に暗き株主連は質問の妨害を試み、中には又賛成說を爲すものもあり中々〳〵騷擾を極めたらしい、詳細は知るに由なきも東京朝鮮の報ずる處に依れば仁川の秋田が問行より八萬圓を借りて居る事は嘘らしい▲秋田と云へば幾度か破產の城に沈まんとして稍く取止めて居る男だ、而かも市原君は國收の見込確實ならざと公言して居る秋田と云ふ男は馬鹿に統監や總裁に信用が厚いから世は侮ると云ふのだ

後任助役の人選難

現京城民潮助役林田茂七郎氏は近々辭任の都合なる旨を聞き早くも野心家の運動開始せられ某を二三數の如きは殆んど血眼の狂態を演じ居れり今其顏觸を窺ふに如何ばしき人物揃からず蠶に屢々其議に上りたる大村某の如きは爾來數回之を行ひし筈なるが寧邊署にては万一を慮り巡査數名を派遣せり

寧邊の市場稅徵收

寧邊に廿日開市當日にて總貿易千圓に對し外來者百廿名分に對する二圓十錢收を終り寧邊商民に對する耳ひ傾け吳るものなきに目下中止の裏なるが其後某議員現れ出で種々運動を試みたるも其內心に民長牽制の魂膽あるを看破したる爲め古城氏は絕對に之を排斥せるを以て是亦成功覺束なきが如し斯くて又魔窟の候補者數へられしが孰れも滯襲長短的のものゝみなれば忽ち出でゝ忽ち消へ去り最後に現はれたる者を峰尾晉三郎氏とする氏の推薦者は古城民長にして頗りに議員間を說き廻はり既に八歩通りは成功せりと云ふ然れども吾社の探知する處によれば議員中には同氏に嫌厭たるもの少からざるが如くなれば愈々事實に現はるゝ時は物議紛出すべし特に民長就任條件中には助役問題は有力なる條件の一に數へられ之を決するには議員七歩民長三歩の意見に依る筈なれば頗る人撰困難なるべしと看取せらる(電通)

シガレー、ブドウ酒、シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水 麒麟 小賣 洋煙草類 金銀馬美術品 直輸入部 三十間 辻屋 支店電話三六六

散髮清人の俠氣（一）

無慘なる少女……無情なる母親……戀しきは營口の空……

南部水標橋通りの一清人宅に七人才の小女と共に假偶なし居る散髮の一清人あり其の一事一動何となく樣子あり氣の拳動なるより能く〳〵索つて見れば在りもあつた故郷來歷先づ抑もの始めより筆を起さんに彼の散髮の清人と云ふは元甲玄威と呼ば廣東產の男にて十數年前には放蕩に身を持ち崩せし結果遂には雲南地方の馬賊の群に驅を投じて戰戰の間に武將を氣取り居たりし事さへありしが偶々改心の或る機會に逢着するや茲に心機一變して渡海飄然と我が日本を志して乘出せしは丁度今より十二年前の事神戸に上陸なして後同國人の一商館に賈辨として驅を納め一二年の間は身を粉に碎いて稼ぎし果て漸くなにがしの貯金を得たるより今度は夫れを資本に自ら一店の主となつて汲々として勵ひ內汗は漸次に金となり何日かは數萬の資產家と數へらるゝに至りしが這逐事位に滿足出來ぬ甲玄威は遂に旗の手を大阪堂島の米界に揚げし處運好くも頓く拍子に儲け出せしより盛んに坂神間にて豪遊を試み居たりしが茲に同人が上陸當時より非常なる世話を蒙ひりし妻木某と云ふ俠客肌の男あり未だ其の頃は與行にて始終諸國を廻り居たりし男なるが甲が堂島にて大金を摑みし頃は同人も神戸福原遊廓の附近にて大裂裝の料理店を開き居たりしより甲も數年來の恩誼もあるよ同樣には常時入り浸りの委となつて家人同樣の關係を結び果ては妻木の希望とあつて辨髮のトンボきでなる切り落して全くの日本人然と成濟ますに至りしなれど左れど世は轉變の人の身の上斯くて早やくも五年を經過せし其の年の秋前記妻木は落葉と共に白骨の軀とぞなりたるより甲の落魄は一方ならず辨逃から一家の世話迄骨肉もれよばぬ盡力を盡し兎角して其の年も明くれば三十九年の春到來を待ち兼ねる女房なる崎と云ふが當時四才になるを雪と呼ぶ可愛ゆき子迄ある身を持て何時しか土地の不穩漢なる花田と云ふ者と情を通ずるに至りしかは甲は再ん〳〵意見を加へしも少しも用ひず却つて亂態日に募り往く有樣に遂には甲も持て餘し最早再嫁せしひるより外はなしと自分仲介となつて相應なる享主を周旋とんと奔走中怎うしても情夫に未練のあるた崎は到々堪り兼ねし者か不愍や四才の娘を甲に賴ひと云ふ一片の手紙を殘して情夫と手を取り行方不明となりしより流石の甲も其の無情を憤はつて手を盡して捜索したるも曾與れ居所の解らざるより是非なく其の娘を引取つて我が子の如く甲斐〳〵しく養育し居たるこそ殊勝なれ

大鷲を射落す

▽北韓守備隊の獲物

岐阜歩兵第六十八聯隊第十中隊は臨時韓國守備歩兵第一聯隊に編入され目下韓國守備北道榮川に駐屯し居る臨時韓國守備歩兵第一聯隊にては此の程の休暇を利用し中隊長室賀大尉始め中隊將校全部は盛銃を肩に榮川より約一里を距る村落に鴨獵に赴きしに前方より一人の韓人顏色土の如く變じ驅付け大韓等に向つて前方村落に一羽の大鷲來り居る旨を告げしかは一同は好き獲物擊止め呉れんとて其の場に驅付けしに鷲は二歲ばかりの韓兒を鷲掴みとなし今にも頭食となさん有樣なるにぞ大尉等は獵銃の狙ひを定めるや鷲は獲みし小兒を放ち裏山の巨樹の梢に飛去りたるが大尉等は逃さじと一齊射擊を爲せしに狙ひ過たず命中し鷲は地上に落下したり件の大鷲は直に中隊本部に搬び來り更に原隊なる岐阜聯隊將校集會所に寄贈し之を剝製として保存し置く筈との通信あり

●若島再勤は嘘ちや

▽相撲より役者に成たい

大阪相撲橫綱若島權四郎が來る五月場所より再び土俵の上に現はる可しと傳へられしより好角家は半信半疑に思ひ居る中、或は揣摩臆說を爲すものあり曰く若島の再勤は事實なるも到底以前の如き相撲振は見られざるべ同人が再勤を思ひ立つに至りたるは病氣快癒後不慣れの興業師となりて五萬圓許りの資產を悉く消費し甚しき窮境に陷れるより强ひて再勤を思ひ立ちしものにして當人は勿論大阪相撲協會にも餘り喜ばざるの風ありなど云ひ右に島再勤は事實に非ずと一笑に附し居りしが記者は頃日神戸小野の千歲座の傍なる其居宅を訪ひ若島に面會して再勤の實否を質したるに同力士は平然として曰く左る事の出來得可き筈なく又斯る風說の如何なる所より出でしかに就ても殆ど推測すること能はず某新聞に掲げられたる寫眞の如きは何時の時代に撮影せしものにや御覽の通り今は坊主頭にて毛頭左る考なし尤も興行は不慣なるも幸に大した損を爲さず先年千歲座を借りてより以前純然たる興行師になり迫つて開通する神戸電鐵に依つて當座も漸次繁昌する見込なれば此機に乘じて何とかせんと其方にのみ腐心居れり之には有力なる後援もあれば例へ損を爲したりとて餘り利の薄は痛む譯にもあらず現今の所相撲取なるよりも役者になりたい位なれば此顏にては役者も出來すと呵々として大笑しながら彼の記事の新聞に出たる以來諸所方々の最良先より電報や手紙にて問合せがあり一々回答するに閉口し居れり云々

三百六十三名の瀕死

▽因作の爲め路頭に迷ふ

仁川署管內なる島洞面甲島谷、淡方里、谷村、雪乃里、雲谷里、安樂洞、甑飯洞、北若洞地方は一昨年來の因作の凶作にて大變に困難し此戶數九十四戶人口三百六十三名は路頭に迷ふか左なくば飢死するの悲境に沈淪せんとす

●共狂ひ夫婦訴判

▽浮いた戀なら覺めもせう

南大門外は中の新地の邊にて些々やかなる門構へに表札の墨黑々と「何田」と記されし一構へあり主は誰かの近所の噂では確か金筋の入つた役人樣には相違なけれど其の奧樣と云ふが何でも只の風でではなさ相なとの事なるが此の奧樣なさ相な處の段でなく以來は釜山遊廓安樂亭とかの女郎上り箸にも棒にも掛らぬ者とかの由なれば其の奧樣と云ふが何でも越へし凄腕の女なるが一と年何田が釜山に滯在中一夜の夢が緣となつて到々立派に泥足を洗つて貰ひ韓妻ではありませんよと念を押し〳〵立戻つたる京城は前記の場所に新世帶始めじめのほと此の頃の口說して互ひに目鼻もなかりしが何日かは覺める浮いた夢やらで何日しか旦那の何田の方から浮氣を始めついれ近くの中之新地へ足を向け始め今日此頃は每夜如く朝返りなるよりれ嘸妬く事一方ならず泣くやら暴るやらの喧嘩に近所の者の目を見張らせたる事も一再ならざりしが不思議な事には兩三日來其のイチャ騷さが見て見て見ませうでも見られぬ次第の平穩となりしより不思議〳〵なりしが者が呟くに曰く此の方も此出入りの色生白い小間物屋を些と摘んで知らぬ顏今夜も貴下往つて入來つしやいなと大變もないご機嫌で旦那どのを押出すと云ふ始末なるが是が又御亭主の耳にでも入らう者なら又一騷動は屹度受合

●寢室は火の海　仁川宮町二丁目居住の掃除受負荒蜂熊傳六は一昨夜支那人だ哩と惑心して行くと今度は朝鮮人の門扉に「度權衡、運籌策」とあるのが目に着いた、清韓人個々の國民性は此所に遺憾なく發揮せられて居（通行人）▲南大門通りに共和組と云ふ車の帳場がある此所に居る五人許りの挽子は皆腕……ちやない脚達者な勢ひの良いの斗りだが每晩二時三時迄も喧嘩斗りするのは近所迷惑である觀方さん叱つて呉れ玉へな（平民生）▲北米倉町で昨日荒古賀具の傍に天婦羅が並べて有た店が今夜通て見ると暖簾も支那僞子等の內に並べられた天麩羅も支那僞飾洋食屋他と揚げられた瓦斯燈と共に見榮がある樣になつた店もランすれば天麩羅屋らしい食た天麩羅の味も一層う（一虎）▲拜啓御多忙の處甚だ申兼候へ共漢文及び英語を敎しへらる學舍に御座無候や又漢文だけにてもよろしく英語ばかりにてもよろしく敎圓師より浮び上り來りて東西折衷の着附を拵へ居る旨を告げしかは一同は好き獲物に去る者あり之に驅付け大家の文光が新案になれる東西折衷振りの仕立と云ふの以此頃花柳界から素人の間にまで流行しかけて大變具合がいゝといふ評判である之に就て文光は語つて曰く「妾は大坂仕込みで東京へ來てからは又東京振りの着附けを熱心に研究した結果一寸思付いたのは東京式と京都式の折衷で着物に無理をかけないで樣子好く着るといふ事です夫は肩のケン先きからツケまでを具合好くつゝめて仕立るので衣桁に掛けた體裁は不合好ですが着こなすと胸のあきから襟の抜き按配まで注文通りに成つき些の狂ひが來ません之が先づ秘訣なんです素人方で京都の人形式け服だしと云つて青生流の野暮臭いのは曲がないと思ふ人は此間で後ろ前を二分位つゝめて仕立れば胸あきや肩の具合が寔に優美に見ゆて着こなしも難作がありません」

東西折衷の着附

▽新樣よりも藝よりも先づ着物の着振りに去る者あり之に驅はる〳〵新橋大阪家の文光が新案になれる東西折衷振りの仕立と云ふの以此頃花柳界から素人の間にまで流行しかけて大變具合がいゝといふ評判である之に就て文光は語つて曰く「妾は大坂仕込みで東京へ來てからは又東京振りの着附けを熱心に研究した結果一寸思付いたのは東京式と京都式の折衷で着物に無理をかけないで樣子好く着るといふ事です夫は肩のケン先きからツケまでを具合好くつゝめて仕立るので衣桁に掛けた體裁は不合好ですが着こなすと胸のあきから襟の抜き按配まで注文通りに成つき些の狂ひが來ません之が先づ秘訣なんです素人方で京都の人形式け服だしと云つて青生流の野暮臭いのは曲がないと思ふ人は此間で後ろ前を二分位つゝめて仕立れば胸あきや肩の具合が寔に優美に見ゆて着こなしも難作がありません」

▲平民文庫▲

▲一昨年より昨年にかけて當地各新聞のハガキ便り欄に盛んに材料を供給した例の本町八丁目の下駄屋の娘さんの其の後ヒ耳にしたから紹介する▲此の頃の不景氣に逐々店が張り切れず今では若草町一丁目のトある溫突に一家逼迫して御座る▲全体女の美貌は不幸と思へる位なだから生の親の眼から見れば隨分飛び放れて美しく見ゆるに相違ない▲親が見てさへ左樣だもの御當人には又殊らに美しく思へることも無理はないのである▲美しと見美しと思ふて居る分には夫れは御手前方の勝手であつて天下は泰平である▲がだ嘗て北部方面を通行した所が「或る支那人の門扉に「財運銀魂、利貫金城」とあるのが目に着いた支那人は支那人だ哩と惑心して行くと今度は朝鮮人の門扉に「度權衡、運籌策」とあるのが目に着いた、清韓人個々の國民性は此所に遺憾なく發揮せられて居（通行人）▲南大門通りに共和組と云ふ車の帳場がある此所に居る五人許りの挽子は皆腕……ちやない脚達者な勢ひの良いの斗りだが每晩二時三時迄も喧嘩斗りするのは近所迷惑である觀方さん叱つて呉れ玉へな（平民生）▲北米倉町で昨日荒古賀具の傍に天婦羅が並べて有た店が今夜通て見ると暖簾も支那僞子等の內に並べられた天麩羅も支那僞飾洋食屋他と揚げられた瓦斯燈と共に見榮がある樣になつた店もランすれば天麩羅屋らしい食た天麩羅の味も一層う（一虎）▲拜啓御多忙の處甚だ申兼候へ共漢文及び英語を敎しへらる學舍に御座無候や又漢文だけにてもよろしく英語ばかりにてもよろしく敎圓師より浮び上り來りて東西折衷の着附を拵へ居る旨を告げしかは一同は好き獲物

諸看板製作　油繪肯像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大廣强請負　赤門通り　椹野工舍

●京城座　同座にては今廿三日より新派劇常盤一座乘り込み開演する由なるが初日本晩の藝題は「盲目使者」全十場の通し者なりと

▲昨年より昨年にかけて當地各新聞のハガキ便り欄に盛んに材料を供給した例の本町八丁目の下駄屋の娘さんの其の後ヒ耳にしたから紹介する▲此の頃の不景氣に逐々店が張り切れず今では若草町一丁目のトある溫突に一家逼迫して御座る▲全体女の美貌は不幸と思へる位なだから生の親の眼から見れば隨分飛び放れて美しく見ゆるに相違ない▲親が見てさへ左樣だもの御當人には又殊らに美しく思へることも無理はないのである▲美しと見美しと思ふて居る分には夫れは御手前方の勝手であつて天下は泰平である▲がだ嘗て北部方面を通行した所が「或る支那人の門扉に「財運銀魂、利貫金城」とあるのが目に着いた支那人は支那人だ哩と惑心して行くと今度は朝鮮人の門扉に「度權衡、運籌策」とあるのが目に着いた、清韓人個々の國民性は此所に遺憾なく發揮せられて居（通行人）▲南大門通りに共和組と云ふ車の帳場がある此所に居る五人許りの挽子は皆腕……ちやない脚達者な勢ひの良いの斗りだが每晩二時三時迄も喧嘩斗りするのは近所迷惑である觀方さん叱つて呉れ玉へな（平民生）▲北米倉町で昨日荒古賀具の傍に天婦羅が並べて有た店が今夜通て見ると暖簾も支那僞子等の內に並べられた天麩羅も支那僞飾洋食屋他と揚げられた瓦斯燈と共に見榮がある樣になつた店もランすれば天麩羅屋らしい食た天麩羅の味も一層う（一虎）▲拜啓御多忙の處甚だ申兼候へ共漢文及び英語を敎しへらる學舍に御座無候や又漢文だけにてもよろしく英語ばかりにてもよろしく敎圓師より浮び上り來りて東西折衷の着附を拵へ居る旨を告げしかは一同は好き獲物

●東京歌舞伎辨當御披露

謹啓陳者嚴寒之候各位益々御淸榮奉賀候降而私儀昨年夏より食道樂に於て不手際なる料理にもかゝり御各位樣の御ひいきに預かり然るに舊臘食道樂と關係をたち左記の處へ開業いたしてより未だ日淺きにもかゝはらず重々の御引立を蒙り日々繁榮仕候段實に萬謝仕奉候就て弦齋流料理の外に御とくい樣方の御便利と存じ東京もり器具を取よせ歌舞伎座當相はじめ候に付山遊び時分ごさの御客樣などには體裁よく至極御便利と存じ候間御ためしの上御注文の程偏に奉希上候追て出前の儀は電話にて御注文被下候へば速時持參仕る可候

二月七日

南山町一丁目

すき津祢

電話千五百〇二番

●東京歌舞伎辨當御披露

謹啓陳者嚴寒之候各位益々御淸榮奉賀候降而私儀昨年夏より食道樂に於て不手際なる料理にもかゝり御各位樣の御ひいきに預かり然るに舊臘食道樂と關係をたち左記の處へ開業いたしてより未だ日淺きにもかゝはらず重々の御引立を蒙り日々繁榮仕候段實に萬謝仕奉候就て弦齋流料理の外に御とくい樣方の御便利と存じ東京もり器具を取よせ歌舞伎座當相はじめ候に付山遊び時分ごさの御客樣などには體裁よく至極御便利と存じ候間御ためしの上御注文の程偏に奉希上候追て出前の儀は電話にて御注文被下候へば速時持參仕る可候

二月七日

南山町一丁目

すき津祢

電話千五百〇二番

▲一昨日午後敎へ下され度廻上帆（無學者生）▲龍山本町三丁目に美人の理髮店が出來て押すな〳〵の大繁昌である成る程一寸美人である事業服を着りた處の樣子なぞ云ふに云はれんよ（彌次馬）

吉凶錄

本町五丁目　三一館判

二月廿三日舊正月十三日八白先勝巳未執△●白　新事及變更の事見合すべ旅行轉住相談依賴等見込なし△●黑　密を受くるの虞れあり△三碧　音信異事を報するあり爭論遺失防ぐべし△四綠　陰鬱なる日なり物事不得要領に終らんとす農事殖林には吉△五黃　平靜の日なり但し業務上に疎漏遺脫を脣す勿れ△六白　事業始め旅行婚姻模樣替方針替等妙尙概して盛運の日なり△七赤　依賴懇願にあふて係累を蒙起す勿れ其他審美の日とす△八白　保證世話事を避け盜難無心を防ぐべし△九紫　有望の日なり業務上につきても快心の事あり旅行及歸省を忌む

●天無隆報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時）

西の風晴後曇

最高溫度　三四、七
最低溫度　一、六二

廿一日（華氏）

京城居留民團公文

京城居留民團告示第二號

當民團立高等女學校學則中左記ノ通リ變更ス

明治四十三年二月二十二日

京城居留民團民團長長　古城管堂

記

第四條　生徒ノ定員ヲ「二百名トス」ヲ「五百名トス」ニ改ム

廣告

御料理席貸
和樂園　高田家
（電話九三七番）米倉町

○料理は萬事御手輕にして高尚
○園內は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

精算を旨とし大勉强仕候也
宮內府御用
博物館
古今美術書畫表裝
金銀屏風襖洋式井張
壽町二丁目

京城旭町一丁目五四
表具　松月堂
電話千〇〇三番

京城
齒科　齋藤英壽
電話一四一四番

諸官衙御用
紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

●報知新聞●報知新聞●報知新聞

美術學校帶締其他紐類各種 京城明治町 電話一千四百〇九 あり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●優上女中 十五六歲の女子高等官舍上女中見習たし俸給望まゝ 氏名在社(八

●店員屋入 十四五歲の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七

●小使入用 但十五歲以下至急入用 龍山元町三 日韓組米店(電三四三)

物件部

●貸家 西大門內佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 別所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 貸化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の權至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戶建間數三間家賃十七圓外に長屋建もり流車電車に近く出入便希望の方は電話七四番

●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社

●物業書讓渡 日韓未使用紀念物業書安價讓渡たし 氏名在社(九

廣告

入院隨意

龍山新市街山下町 內科 小兒科 眼科 原醫院

龍山元町二丁目 電話一〇三番 佐藤病院

入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信 中島醫院

●滋養と牛乳●●● 純良 京城東四軒町 牛乳 岡野牧場 電話壽〇六九番

●●●衛生と消毒●●● 馬車配達

入院隨意 內科 外科 小兒病 梅毒淋病 京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二一六) 院長陸軍醫正 高井貞治

陸軍大將從二位勳一等子爵 乃木將軍 電話 佐一。五六番

入院隨意 內科 梅毒痲病專門 京城御成町南大門外一丁南 電話番號九三八番 戶田病院

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 辯護士 岡田榮 京城旭町一丁目六十七番戶 (電話三九八番)

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す 但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす 病室落成入院隨意 貧民施療 贊化病院 本町四丁目 電話二四番

出張所設置廣告

今般左記の處へ出張所を設置致候間此段廣告仕候也

土木建築請負業 京城南山下町一丁目 須々木本店

諸官衙御用達 京城南大門通り三丁目(龍山電話一〇八番) 須々木出張所(電話四二四番)

生殖器科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器)奉職 處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痲病勝眺病生殖器機能障碍の診療に從事 診療(午前自八時午前二時迄 夜間自五時九時迄) 入院隨意 電話一一七三番 南大門通三丁目 支那領事館前通 京城郵便局後 佐藤皮膚病院 院主佐藤伊藏

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 厚金旅館 (電話一一一五番)

京城明治町二丁目(佛國敎會前) 辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

資本金 積立金 一千萬圓 五百四十萬圓 株式會社 第一銀行京城支店

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 電話一一番 六一一番

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區、大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

統監府裁判所監獄署警察署法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

右書資料報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し或洲の至りに候就ては猶一層苦慮等致し大目を協約、官制官規、等級俸給其他諸般の至りに候就ては猶一層苦慮等致し大目を協約、官制官規、任用、裁判所、監獄署、警察署等の現行法規を蒐集なるは勿論必要引用して些の遺漏なきを期し本月一日發行の運びに相成候間御申込の順序に從ひ全部を附して出に易からしめ餘すを恵志に有之候間